
親友の好きな人

雨と傘

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

親友の好きな人

【Nコード】

N4895U

【作者名】

雨と傘

【あらすじ】

ガールズラブのタブは保険です。

それっぽい表現が出るだけで、露骨なものはありません。

(前書き)

ガールズラブっぽい表現が出てきます。

苦手な方は回れ右。

息抜き作品なので短いです。

私の親友には好きな人がいる。
あいつはひとつ先輩の彼女と付き合っていて、学校で有名なバカッ
プルだ。

今日もこの子はあの二人のことを見つめている。

「優ってあいつのこと好きなんだっけ。」
質問のような言葉だけど、口調は断定的。

この子は1年の時からあいつことが好きだと言っている。
何度も恋愛相談にのったが、彼女がいるから告白する気はないらし
い。

二人が近くを通るとこの子は、必ずあの二人を眺める。
羨ましそうに、寂しそうに、少しの憎悪を瞳にのせて。
それを眺めるのが私の習慣になっている。

最初のころは肩を叩いたりして意識を逸らしていたけれど、限が無
かったから今は好きなようにさせている。

でもこの子は気付いているのだろうか。

羨望の目で先輩を見て、憎悪の瞳であいつを見ていることに。

「……んー。」

惚けているのか返事は上の空。

普通、好きな人の名前が出てきたら、顔を赤くしたり、否定したり
すると思うのだが。

試しに先輩の名前を出してみたくなる。

だけど、先輩の名前を出した時にでる反応が予想した通りだったらと思うと、話題に出せない。

別に偏見があるわけでもないし幸せならいいと思っているけど、本人は気付いていないようだし。

わざわざ地雷を踏む趣味はない

あの二人は中学校から付き合っているらしく、学校でも有名なバカツプルだ。

先輩後輩カツプルで先輩は3年だから今年でもう卒業。

「（だけど、あの二人は先輩が大学行っても続くんだろっなー。」
はつきり言って望みは薄い。

親友として応援するべきなのだろうけど、私は諦めたほうがいいのではないかと思う。

親友はまだ2人を見つめている。

その横顔を私はぼーっと眺める。

傍から見たら変な光景なのだろう。

結局、この子はどっちに恋をしているのだろう。

同級生の彼？

それとも…先輩の彼女？

どちらにせよ、玉砕確実。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4895u/>

親友の好きな人

2011年10月9日04時01分発行